



平成 23 年 12 月 26 日

各位

会 社 名 株式会社日本エム・ディ・エム
代表者名 代表取締役社長 大川 正男
(コード番号 7600 東証一部)
問合せ先 I R 部 棟 近 信 司
(03-3341-6705)

骨接合材新製品の薬事承認取得及び販売開始に関するお知らせ

株式会社日本エム・ディ・エム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大川 正男）は、当社の米国子会社であるオーソデベロップメント社製造の『骨接合材製品』の薬事承認取得及び販売を開始することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 新製品の内容

当社は日本国内において骨接合材製品を 30 年以上にわたり販売してまいりました。長年販売を行ってきたジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社との契約が平成 23 年 6 月 30 日をもって終了することに伴い、米国子会社であるオーソデベロップメント社と共同で新たな骨接合材製品の開発を行なってきました。

当社は「日本人患者の骨格体型に合致し、尚且つ日本人医師のニーズを満たす製品の提供」のコンセプトのもとに多数の医師の協力を得て、多数の日本人の骨格データをもとにさまざまな分析・検証を行ない、より日本人の骨格体型に合致した製品を開発し、症例数の多い足関節用、手関節用プレートの薬事承認を取得致しました。

また、非常に繊細である日本人医師の手術手技を満たすため、手術器械についても長年骨接合材分野で培ってきたノウハウをもとに、より簡便で確実な手術を行なうための手術器械を開発致しました。

そのほか 2010 年 1 月から販売を開始したオーミック社の製品、本年度から販売を開始したナカシマメディカル社製骨接合材の髓内釘関連製品、自社製品である頸部骨折骨接合材製品の売上も順調に推移しております。また、現在、開発・薬事承認申請中の製品についても薬事承認取得次第、順次販売する予定であります。

これから更に高齢化が進むことにより骨接合材市場は大幅に伸張することが想定される中で、これらの「日本人向け骨接合材製品」の準備が整ったことにより、現在の骨接合材製品の売上の大半を補うだけでなく、更に大幅な売上獲得を目指します。

2. 自社新製品一覧

① 販売名 : MDM アンクル プレート システム

承認番号 : 22300BZX00396000

用途 : 脛骨及び腓骨骨折用骨接合材
(脛骨用)



(腓骨用)



② 販売名 : MDM ラディウス プレート システム

承認番号 : 22300BZX00434000

用途 : 橈骨遠位端骨折用骨接合材



③ 販売名 : MDM コンプレッション ヒップ スクリュー

承認番号 : 21500BZZ00616000

用途 : 大腿骨転子部骨折及び頸基部骨折に対する固定



上記販売開始予定

平成24年3月から順次販売予定

3. 既販売業務提携新製品一覧

「オーミック社製新製品」

- ① 販売名 : OM フェモラル ネイル システム
承認番号 : 21900BZX00772000
用途 : 大腿骨転子部骨折及び頸基部骨折に対する固定

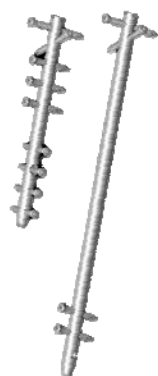


「ナカシマメディカル社製新製品一覧」

- ① 販売名 : Inter Blade Nail システム
承認番号 : 22200BZX00759000
用途 : 大腿骨転子部骨折及び頸基部骨折に対する固定



- ② 販売名 : ニューストレートネイルシステム
承認番号 : 21900BZX00611000
用途 : 上腕骨近位部骨折及び骨幹部骨折に対する固定



- ③ 販売名 : マルチホールネイルシステム (γ線滅菌)
承認番号 : 21100BZX00254000
用途 : 大腿骨遠位部骨折及び足関節に対する固定



4. 今後の見通し

本製品群は、第41期（平成25年3月期）に約25億円の売上を見込んでおります。

以上